令和８年７月１５日

蔵書計画骨子（案）

１　計画の趣旨と位置づけ

蔵書計画は、令和８年６月に策定した「京田辺市立図書館サービスアクションプラン」を実現するために、蔵書構成にかかるサービス展開の方法を具体化する計画として作成します。

・計画期間

期間は、アクションプランの計画期間に合わせた、令和８年度から令和１７年度までの１０年間とします。

・基本方針

１　蔵書の質の向上
２　市民ニーズへの対応
３　複合型公共施設への移行
４　電子書籍やデジタルコンテンツへの対応

２　全体計画

１０年間を３期に分け、段階的に「次世代図書館」にふさわしい蔵書構成へと転換を図ります。

期間	テーマ	主な取組	成果目標
第1期 （令和8年 ～10年）	蔵書再編・ 基盤整備期	・集中的に除籍を実施 ・電子書籍導入に向けた研究、検討 ・市民ニーズ調査の実施 ・学校図書館との新たな連携取組検討	「量から質へ」の転換を開始し、魅力ある開架づくりの基盤を整備
第2期 （令和11年 ～13年）	市民ニーズ反映・特色形成期	・市民ニーズ調査、貸出分析に基づく選書 ・蔵書構成の修正 ・電子書籍の試行 ・学校図書館との連携強化	調査分析結果に基づく蔵書構成へ転換し、市立図書館の特色形成
第3期 （令和14年 ～17年）	次世代図書館・複合型公共施設への対応期	・複合型公共施設への最適化 ・紙と電子の最適配分 ・地域資料のデジタル化 ・保存資料と利用資料の役割分担 ・更新率、回転率の最適化	市民ニーズと新しい図書館サービスに対応した持続可能な蔵書構成の完成

3　各期の具体的な取組と数値目標

第１期（令和８年～１０年度）

テーマ「蔵書の整理・更新」（増やすより整えることを中心に）

取り組むべき課題

・現行スペースの基本収容能力を超える蔵書数となっている
・適切な除籍が進んでおらず、古い資料が残っている
・図書館を利用していない人のニーズが把握できていない

具体的な取組

・複本の整理、情報の古い資料の更新、利用実績の低い資料の見直し
・分類別構成比の改善開始
・地域資料の整理、保存の方針策定
・新たな利用者層拡大に向けたニーズ調査の実施
・紙と電子双方の有効活用できる仕組みの検討
・司書教諭及び学校司書との情報交換によりニーズを把握

第１期の数値目標・指標

第　１　期（令和８年～１０年度）		
項　目	現　状	目　標
蔵書冊数	約３６万冊	約３５万２千冊
年間除籍冊数	約１万１千冊	(R8) 約１万３千冊 (R9.10)約１万４千冊
新規購入冊数	約１万１千冊	現状維持
蔵書更新率　※	約６％	約７％
成人書構成	６６％	適正維持
児童書構成	３４％	適正維持
資料収集基準改定		完了
除籍基準見直し		完了
分類別蔵書分析		全分類完了
この期の重点 ・古い資料の更新 ・重複資料の整理 ・書架の改善・整理 ・分類別蔵書の見直し		

※蔵書更新率＝(新規購入冊数＋年間除籍冊数)÷年度末総蔵書冊数×１００

第２期（令和１１年～１３年度）

テーマ「市民ニーズを反映した蔵書へ」（資料の質の向上へ）

取り組むべき課題

・分析結果に基づく計画的な資料収集
・情報科学は、進展が著しく最新の情報をすべて提供することが難しい

具体的な取組

・年代別分析を実際の選書に反映（ヤングアダルト世代、子育て世代、シニア世代向けの資料充実）
・課題解決型資料、趣味・実用、地域課題に対応した資料の収集
・市内小・中学校と連携した調べ学習資料の情報共有と充実
・媒体によらない読書習慣のきっかけづくりとなる電子書籍の試行

第２期の数値目標・指標

第　２　期（令和１１年～１３年度）	
項　目	目　標
蔵書冊数	約３４万６千冊
年間除籍冊数	約１万３千冊
新規購入冊数	約１万１千冊
ヤングアダルト資料	１０％増
子育て支援資料	１５％増
医学・健康資料の更新	３０％
情報科学資料の更新	５０％
電子書籍の試行	●●●
地域資料デジタル化	２０％完了
学校図書館への支援	整理完了
この期の重点 ・市民ニーズ結果による選書 ・利用実績による選書 ・ヤングアダルト世代の利用促進 ・学校図書館との新たな連携実施	

第３期（令和１４年～１７年度）

テーマ「次世代図書館への移行」（複合型公共施設に対応した蔵書づくり）

取り組むべき課題

・複合型施設における「紙」と「電子」のバランスのとれた蔵書構成
・貴重な地域資料や行政資料の「保存」と「利用」の両立

具体的な取組

・２期までに取り組んだ成果の検証と対応
・紙資料と電子資料の最適配分決定
・デジタルアーカイブの充実（地域資料のデジタル化推進）
・保存資料と利用資料の役割分担の明確化
・行政資料の保存、バリアフリー資料の充実、電子コンテンツへの対応

第３期の数値目標・指標

第　３　期（令和１４年～１７年度）	
項　目	目　標
蔵書冊数	約３４万６千冊を維持
年間除籍冊数	約１万１千冊を維持
新規購入冊数	約１万１千冊
電子書籍の本格導入	●●●
地域資料デジタル化	８０％以上
蔵書更新率	年６％以上
ヤングアダルト利用率	５％増
２３歳から３９歳利用	１０％増
この期の重点 ・紙と電子の複合型の完成 ・更新率の適正維持 ・回転率の向上	

４　各期における主な取組項目

項　　目	第 １ 期	第 ２ 期	第 ３ 期
除　　籍	集中的に実施	継続実施	維持管理
更　新　率	改善	適正維持	適正維持
電　子　書　籍	研究・検討	試行	本格導入
ヤングアダルト資　　料	現状分析	重点整備	適正維持
地　域　資　料	デジタル化への準備	デジタル化の開始	アーカイブ充実
書　　架	整理	最適化	完成